

令和5年度第2回区民との意見交換会 要旨

〈テーマ〉江戸川清掃工場の建替事業について

●参加者7名

●清掃一組説明者

森田企画室長

能戸企画室計画担当課長

佐々木運営担当課長

武蔵野計画推進課長

井俣建設課長

吉川工場建設担当課長

●質疑応答

テーマについて（江戸川清掃工場の建替事業について）

区民の方からの質問・意見	清掃一組回答
全覆い仮設テントを導入したのが江戸川清掃工場で5例目とお話があったが、過去の導入した工場を教えてください。また、テントの仕様は全て同じものであるのか。	過去には、練馬清掃工場、杉並清掃工場、光が丘清掃工場、目黒清掃工場で、施工業者の提案に基づき全覆い仮設テントを採用しました。テントの基本的な仕様は同じですが、様々な技術革新がされています。
全覆い仮設テントの材料は「リユース」しているのか。	全覆い仮設テントの骨組は「リユース」しています。シート部分は、江戸川清掃工場の大きさに合わせて加工しているため、他の建替工事で使用することは難しいと考えておりますが、施工業者に再利用の検討を促していきます。
全覆い仮設テントの素材は何か。難燃剤等が入っている燃えにくい素材なのか。難燃剤が入っているとすると、火災の際有害物質を放出するのではないのか。	素材はビニールシートで、お話のとおり難燃剤が入っている防災シートと呼ばれるものです。火災があっても自燃はしません。
江戸川清掃工場の建替費用はいくらか。	契約した時は約530億円でしたが、物価上昇の影響や土壌調査の結果「ヒ素」が検出されたことから、処理するための土壌汚染対策費用が上乗せされ、約600億円となっています。
「ヒ素」が検出された原因は、旧江戸川清掃工場に起因するものなのか。	旧江戸川清掃工場の操業時に「ヒ素」を使用したことはありません。江戸川清掃工場の土地は川の側に位置し、上流から土が堆積して形成された土地であるため、自然由来の「ヒ素」が含まれる土地と考えられます。土壌汚染については、工事の進捗に合わせて、法律に基づき汚染土壌の処理を行っています。
電源設備はどこに配置するのか。配置場所によっては、地震や津波の影響を受けるか心配である。	電源設備は、重量があるため非常用電源設備を含めて1階に配置します。最近では集中豪雨が多く、また、江戸川清掃工場は江戸川が隣接していることから、江戸川区の浸水ハザードマップに基づいて、緩衝緑地部分を除いた敷地全体の地盤の嵩上げや止水板を設置する等、現時点で想定される水害対策を行っています。津波に関しては、東京湾の基準水位から高い場所にあるため、津波が江戸川清掃工場まで一気に押し寄せることは想定されていない地域にあります。
見学者設備について、子ども達に水害の歴史を見てもらうコーナーを設ける予定と説明があったが、その展示等をする事業者は決定したのか。 清掃工場はごみを処理する設備であるので、ごみを処理する内容について触れるだけでなく、ごみを処理するにはお金が掛かることや、ごみを減らすことも周知していただきたい。	展示に係る内容については、事業者も含めてまだ決定していません。清掃工場の役割として中間処理について説明するだけでなく、ごみを減らすことの啓発を含めて、展示内容を検討していきます。